



土木学会第 65 回海岸工学講演会にて研究発表を行いました(2018/11/14-16)

テーマ：災害科学，海岸工学，津波工学

場所：とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)

11月14日(水)~16日(金)の3日間，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)で土木学会が主催する第65回海岸港工学講演会が開催されました。土木学会海岸工学委員会では，査読付きの論文集である「土木学会論文集 B2 (海岸工学)」を編纂しています。海岸工学講演会は，この論文集に掲載された論文について発表会を行い，参加者との意見交換を行うものです。

当研究室からは学術講演会で10編の論文が採択され，アナワット准教授，佐藤翔輔，山下准教授，門廻助教，林助手，牧野嶋(D3)，大竹(M2)，馬場(M2)，倉本(M1)，新家(M1)が登壇し発表しました。各発表者の講演題目等は次の通りです。

○ <u>Suppasri Anawat, Pakoksung Kwanchai, Charvet Ingrid</u> , 他	New building damage assessment method based on numerical tsunami simulation and analytical force estimation: Case study of the 2011 Tohoku tsunami
○ <u>佐藤翔輔, 新家杏奈, 川島秀一</u> , 他	東日本大震災の発生前における津波伝承に対する認識の地形間比較・評価
○ <u>山下啓, 菅原大助, 有川太郎</u> . 他	強い非定常流れにおける飽和浮遊砂濃度を考慮した津波土砂移動モデルの改善
○ <u>林晃大, 山下啓, 今村文彦</u>	海岸林の分布・地形条件を考慮した家屋の津波被害に関する定量評価手法の提案
○ <u>門廻充侍, 高橋智幸, 日向博文</u> , 他	1局の海洋レーダを用いた津波波峰推定法の検討とその適用例
○ <u>牧野嶋文泰, 大石裕介, 今村文彦</u> , 他	大規模避難シミュレーションによる臨海都市部の津波避難リスク分析と低減方策の検討
○ <u>大竹拓郎, Anawat Suppasri, 今村文彦</u>	グローバル津波ハザード評価に基づく新しいハザード指標の導入と各地域での津波防災の提案
○ <u>馬場亮太, 佐藤翔輔, 今村文彦</u> , 他	津波で被災した現地再建者の地震・津波に対するリスク認知・防災リテラシー・備えの実態 -東日本大震災で被災した名取市の事例-
○ <u>倉本和俊, Anawat Suppasri, 今村文彦</u>	2016 福島県沖地震津波の課題整理とデータベースを利用した津波評価
○ <u>新家杏奈, 佐藤翔輔, 川島秀一</u> , 他	津波伝承による津波の備えやリスク認知・実避難行動への影響-宮城県気仙沼の事例-

下線は研究室構成員



アナワット 准教授



佐藤翔輔 准教授



山下 准教授



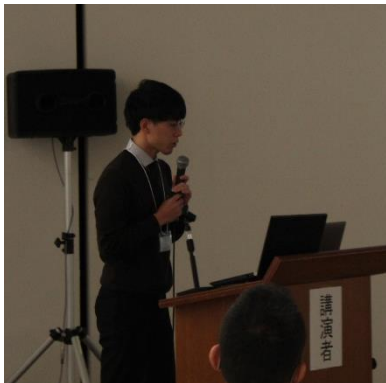
門廻助教



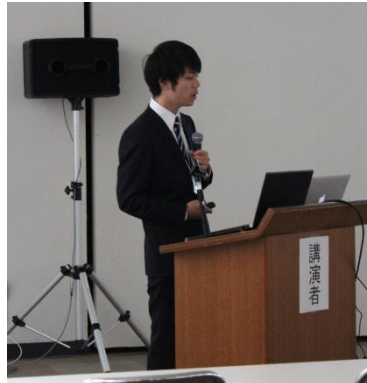
林 助手



牧野嶋(D3)



大竹(M2)



馬場(M2)



倉本(M1)



新家(M1)

(文責：倉本)